

2020（令和2）年度 第6期 事業報告書

2020（令和2）年4月1日から

2021（令和3）年3月31日まで

1. カトリック学校の課題と対応

司祭・修道者の高齢化や減少に伴い、カトリック学校としてのアイデンティティの維持・継承が大きな課題である。これらに対応するため、学校責任者の養成や教職員研修がより重要性を増すと同時に、優秀な教職員人材の確保が必要となっている。また、少子化や私学間競争、公立との競合など、経営面の課題も山積しており、学校法人の組織の在り方自体を検討することも求められる時機が到来していると考えられる。

上記課題に対応すべく、当連合会では、ホームページによる人材情報の取り扱い、「学校法人特別委員会」「研修会特別委員会」の活動を通して、有効な支援を行えるよう努めている。

2. 法人理事会、評議員会の開催

理事会・評議員会の開催は以下のとおり。

- ・第1回理事会 2020年4月22日（書面審議）
（議案内容）2019年度事業報告・決算、新任理事候補の推薦、評議員会招集
- ・定時評議員会 2020年5月12日（書面審議）
（議事内容）2019年度事業報告・決算、理事選任
- ・第2回理事会 2020年10月30日 ニコラ・バレ修道院
（議事内容）組織改編、財務委員交代、中間事業報告・決算報告
- ・第3回理事会 2021年2月19日 Zoom オンライン
（議事内容）役員人事、2021年度事業計画・事業予算・資産運用方針

I. 連合会共通事業

1. 人材情報の確保と支援

(1) ホームページを通じた人材情報の掲示と共有化。

制度の認知度が高まる中で幼稚園から高校まで広く、利用されている。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で社会全体の活動が低調なこともあり、求職登録数は130名（前年160名）、学校からの求人掲載数は180件（同247件）であった。

(2) 「学校一日体験」の企画運営

田園調布雙葉小学校・中学・高等学校にて開催を予定するも、コロナ感染拡大のため中止となった。

2. 学校法人特別委員会

- ・ 加盟校がカトリック学校としての使命を果たすために、教育内容の充実、法人統合等について専門的見地から、集中的な検討や具体的な助言・支援を行う。
- ・ 北海道地区、関東地区、近畿地区などから広く相談が寄せられている。

3. 研修会特別委員会
 - ・ 毎年度、当連合会が関わる研修会の内容について検討と審議を重ねている。
 - ・ 必要な研修の企画運営に携わるため、オンライン会議を活用した。
4. カトリック学校法人リーダー研修会
 - ・ 将来のカトリック学校や学校法人を担うリーダーを対象に、現在の諸問題の中からテーマを設定し、講演と分科会を行っている。
 - ・ 今年度は10月15日(木)～16日(金)ニコラ・バレ修道院で開催予定であったが、コロナ感染拡大に鑑み対面での研修会を中止。代わりに、10月16日14時より、オンラインにて開催。基調講演、DVD放映、グループ討議で構成。講師：幸田和生名誉司教、演題：「コロナによる分断を乗り越える ～人と人とのつながりの回復に向けて～」。
5. キリスト教学校教育懇談会
 - ・ 毎年、キリスト教学校教育同盟(プロテスタント学校の連盟)と協力して講演会を実施している。開催場所は東京と大阪の交互とし、今年度は東京開催。カトリック側が当番で、実行委員会を中心に準備を進めた。
 - ・ 当初、11月21日(土)、上智大学6号館101教室で開催予定であったが、オンライン研修に変更。基調講演とグループ討議で構成する研修会を実施した。講師：ヨゼフ・アベイヤ司教(カトリック福岡教区)、演題：「いま、キリスト教学校が大切にしたいもの ～見る・共感する・行動する～」。
6. 情報発信
 - ・ ホームページを活用して、当連合会の取り組みについて都度発信している。
7. 加盟学校名簿の作成
 - ・ 2年毎に加盟校名簿を作成し配布している(2019年度作成配布済み。次回は2021年度)。
8. 日本カトリック学校教育委員会との連携
 - ・ 学校教育委員会と連携するため、学校教育委員会定例会に当連合会から陪席する他、「校長・理事長・総長管区長の集い」(4月開催)に役員や事務局員が参加する。
 - ・ 今年度も4月28日(火)～29日(水)都市センターホテルにて開催予定であったが中止となった。
9. みちのく未来基金
 - ・ 企業が設立した「みちのく未来基金」とカトリック大学を繋ぐ(産学連携)支援をするため、毎年1回、「みちのく未来基金」の事務局を訪問し、情報交換を行っている。
10. 資産運用
 - ・ 「資金運用規定」「財務委員会運営規程」及び「2020年度資産運用方針」に沿って、特定資産の適正かつ効率的な運用を図っている。

II. 大学連盟事業

1. 連盟の運営（総会等）

- ・ 日本カトリック大学連盟の事業を企画し、実施に向けて、総会・幹事会にて内容を検討している。6月12日（金）～13日（土）聖心女子大学にて開催予定だったが、6月12日オンライン開催に変更した。
- ・ 2021年度より、短期大学連盟と統合し、「日本カトリック大学・短期大学連盟」が発足することが決議された。

2. 研究奨励・奨学金

カトリック学術奨励金「研究奨励賞」選考規定、「研究助成金」選考規定、大学院奨学生選考規定、大学院留学生奨学金選考規定に基づき、研究奨励賞、研究助成金、大学院奨学生・留学生を選出する。今年度は、研究奨励賞2名、研究助成金1件、大学院奨学生・留学生6名を選出した。

3. 共催事業

カトリック大学図書館協議会が行う講演会を共催事業としている。

4. 職員研修会の開催（短大連盟と合同で隔年開催）

9月3日（木）～4日（金）仙台白百合女子大学にて開催予定であったが、コロナ感染拡大のため中止とした。

III. 短期大学連盟事業

1. 連盟の運営（総会等）

- ・ 日本カトリック短期大学連盟の事業を企画、実施に向けて総会にて内容を検討している。
- ・ 5月22日（金）布池教会（名古屋教区カテドラル）にて総会を開催予定であったが、書面審議に変更し、同日に予定されていた松浦悟郎司教のミニ研修会も中止となった。
- ・ 2021年度より大学連盟と統合し、「日本カトリック大学・短期大学連盟」が発足する。

2. 研究奨励

カトリック学術研究奨励賞選考規定に基づき、研究奨励賞を選出している。今年度は該当なしであった。

3. 職員研修会の開催（大学連盟と合同）

- ・ 2018年度より大学連盟と合同で隔年開催。
9月3日（木）～4日（金）仙台白百合女子大学にて開催予定であったが、コロナ感染拡大のため中止とした。

IV. 小中高連盟事業

1. 連盟の運営（委員会等）

- ・ 日本カトリック小中高連盟の事業を企画し、実施に向けて、代表委員会にて内容を検

討している。春の代表委員会は「校長・教頭研修会」に合わせて行っている。

- ・ 春の代表委員会は研修会の中止に伴い、7月2日オンラインにて開催した。
 - ・ 秋は10月21日に Zoom オンラインにて開催した。
2. 校長・教頭合同研修会
 - ・ 日本カトリック小中高連盟主催で行う研修会で今年度は北海道地区が担当となっていた。
 - ・ 7月2日（木）～3日（金）札幌にて開催予定であったが中止となり、2021年度に繰り延べ7月1日（木）～2日（金）札幌パークホテルにて開催を予定していたが、コロナ感染拡大終息の目途が立たず、規模を縮小し、7月1日（木）にオンラインで研修会を行う予定である。
 3. キリスト教研究会

関東地区の教職員を対象に、年10回開催してきたが、今年度は6月スタートの年9回に変更し、かつ途中よりオンライン開催に変更した。澤田豊成師（聖パウロ会）による「聖書のたとえ話」。
 4. 新任校長研修会
 - ・ 「事務職員研修会」と交互に隔年開催。
 - ・ 今年度開催予定の新任校長研修会は、当初オリンピック東京開催が予定されていたため、2021年度に開催する予定となっている。
 5. カトリック教育を学ぶ会

若手教員(20代～30代)を対象とした研修で、今年度より2泊3日とし、8月18日（水）～20日（木）聖心会裾野マリア修道院で開催予定であったが、コロナ感染拡大に鑑み中止した。
 6. 各地区連盟事業の助成

日本カトリック小中高連盟の目的（規約第3条）を達成するために各地区連盟の事業に助成を行う。今年度は事業の見送りが多いと予想し、春の代表委員会において、従来の前渡し方式から事後申請支給方式へ助成方法の変更を決定した。

V. 幼児教育連盟

1. 連盟の運営（委員会等）
 - ・ 日本カトリック幼児教育連盟の事業を企画し、実施に向けて、常任委員会及び代表委員会にて内容を検討している。
 - ・ 代表・常任委員会を6月9日書面審議の形で開催し、常任委員会を11月9日、2月9日、3月31日に Zoom オンラインで開催した。
2. 後継者養成研修会
 - ・ 将来のカトリック園を担っていく人材育成を目的として、2泊3日の研修会を実施している。7月29日（水）～31日（金）南山学園研修所にて開催予定であったが、会場が閉鎖となり開催を中止した。
3. 教職員研修全国大会（隔年開催）

- ・ カトリック園で働く教職員を対象とした隔年開催の研修会。
 - ・ 次回は2021年7月27日(火)～28日(水)新潟・朱鷺メッセにて開催予定していたが、コロナ感染拡大の終息の目途が立たず、従来型の研修会は中止とし、代替りの研修会の開催を検討している。
4. 理事長・園長研修会(幼保合同)
- ・ 2018年度に初めて幼保合同で開催した。今後の開催は必要に応じて決定する。
5. 研修会助成金
- ・ 当連合会の目的に合致する事業として「キリスト教教育に関する研究会・講演会の開催」を企画運営する団体に助成している。また、助成金は、講師料に限り5万円を上限としている。今年度は研修会の中止が多く、申請は2件にとどまった。
6. eラーニング教員免許状更新講座の運営
- 幼稚園教諭に特化したオンライン講習講座をキリスト教保育連盟と連携協力して運営している。2019年12月に開講し、今年度は150名の受講申し込みがあった。

VI. 「よき家庭」発刊事業

1. 「よき家庭」の編集出版

- ・ カトリック小中高に学ぶ児童・生徒の保護者を対象に、家庭トカトリック学校を繋ぐ内容を盛り込んだ冊子を年3回(7月、12月、2月)編集出版している。
- ・ 2020年度の購読申込数は、大規模校の加盟により、約85,500部/各号(前年度約84,000部/各号)、年間購読料約770万円(同約750万円)と前年度より増加した。

VII. 「ひかりの子」「かがやき」発刊事業

1. 「ひかりの子」の編集出版

- ・ カトリック園に学ぶ園児の保護者を対象に、家庭教育、カトリック園との協力の推進に資する内容を盛り込んだ冊子を年6回(4月、6月、9月、11月、1月、3月)、編集出版している。
- ・ 今年度の購読申込部数は約57,000部/各号、年間購読料約2,050万円と前年並で推移している。

2. 「かがやき」の編集出版

- ・ カトリック園の教職員を対象に年2回(6月、12月)、編集出版している。
- ・ 「かがやき」は引き続き高い評価を受けており、2020年度の発行部数は加盟園各3部と追加申込み分合計で約4,600部/各号(前年度4,400部)と前年度より増加した。

3. 「カトリック園へようこそ」

- ・ カトリック園を紹介する冊子を希望する園に有料配布している。
- ・ 1部10円(送料別)を100部単位で申込み受付し、今年度は合計11,700部を配布した。

以上